



## 主要事業内容

### ■鉄鋼アルミ

- 薄板製品
- アルミ板
- 線材・条鋼製品
- 厚板製品

### ■素形材

- 鋳鍛鋼製品
- アルミ鋳鍛
- アルミサスペンション
- チタン
- 建材用チタン
- アルミ押出・加工品
- 銅板条
- 鉄粉製品

### ■溶接

- 溶接システム
- 溶接材料

### ■機 械

- 汎用圧縮機
- 回転機（非汎用圧縮機）
- タイヤ・ゴム機械
- 樹脂機械
- 高機能商品
- 圧延設備・プレス機械
- 超高压装置
- エネルギー・化学関連機器

### ■エンジニアリング

- 製鉄プラント関連
- 原子力プラント・機器
- 都市交通システム
- 水処理
- 廃棄物処理、リサイクル
- 冷却塔
- 化学・食品機械
- エネルギー・化学プラント

### ■建設機械

### ■電 力

URL : 神戸製鋼ホームページ 技術・製品情報  
<https://www.kobelco.co.jp/products/>

QRコード :



QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

## 編集後記

### <特集：溶接・接合技術>

\*2018年3月に続き、溶接・接合技術の特集号をお届けしました。

\*至近時では世界的に環境に対する意識が高まっており、溶接業界を取り巻く環境も大きく変化しています。近年ではとくにCO<sub>2</sub>削減やカーボンニュートラルに向けた様々な取組みが各業界で進められており、風力発電をはじめとした自然エネルギー市場の拡大に加え、LNGやアンモニア、水素といった燃料の置き換わりも予測されています。

\*このような中、溶接・接合に対するニーズも多岐にわたってきています。例えば各種溶接構造物に対しては、「軽量化」、「長寿命化」、「高強度化」などのニーズが高いいっぽう、就労人口の高齢化・減少にともなう溶接士不足や技量不足の問題を解決するために、ものづくりの現場における「省人化」、「脱技能化」、「高能率化」といったニーズが高まっています。さらには、異なる素材同士を接合する場面も増えており、新たな接合技術や接着技術に関するニーズも広がりを見せています。

\*当社は溶接材料に加え、アーク溶接ロボットシステムや溶接電源、溶接・接合プロセスや施工法の開発までを担うトータルソリューション企業として世界をリードしてきました。この当社の強みを生かし、今後も上記ニーズにこたえる開発に積極的に取り組んでいきます。とくに「カーボンニュートラルへの挑戦」という課題に対しては、溶接・接合技術をお客様に提供することにより、社会全体としてのカーボンニュートラルに貢献していきます。

\*本特集号では新しく開発した溶接・接合技術を中心に紹介しました。健全な接合部を実現するためには、装置、材料、施工法といった要素を適切に組み合わせることが重要であることは言うまでもありません。これらすべての要素に関わる技術を有している当社だからこそお客様にとって価値ある製品や技術を提供できると考えています。今回紹介した製品や技術を提供することにより、環境問題の解決や社会全体の発展につながれば幸いです。

(横田泰之)

## 次号予告

### <特集：KOBELCOのマテリアリティと価値提供を支えるコア技術>

\*当社グループは、素材系事業の鉄鋼アルミ、素形材、溶接、機械系事業の機械、エンジニアリング、建設機械、そして電力事業の七つの事業領域を有しており、「Mobility」「Life」「Energy & Infrastructure」と幅広い分野のお客様に対して技術・製品・サービスを提供してきました。そして、「安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望をかなえられる世界（KOBELCOが実現したい未来）」の実現に向け、「個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつづける（KOBELCOの使命・存在意義）」ことで、社会の発展に貢献していく企業グループであり続けることを目指しています。

\*2021年にはこれを実践するための重要課題として次の五つのマテリアリティ（中長期的な重要課題）を特定しました。

- ・グリーン社会への貢献
- ・安全・安心なまちづくり・ものづくりへの貢献
- ・人と技術でつなぐ未来へのソリューション提供

・多様な人材の活躍推進  
・持続的成長を支えるガバナンスの追求  
\*いっぽう、このような幅広い事業展開を支えているのは、これまで当社グループの強みとして培ってきた「21のコア技術」です。これらを事業の垣根を越えて融合させるとともに、新たな技術を開発または取り込むことで、社会の変化やお客様の新たなニーズにこたえてきました。今後も、このような多様な事業領域と技術基盤を生かし、将来にわたってお客様の期待にこたえ続けることが当社グループの使命であると確信しています。

\*次特集号「KOBELCOのマテリアリティと価値提供を支えるコア技術」では、このマテリアリティの中でとくに「グリーン社会への貢献」「安全・安心なまちづくり・ものづくりへの貢献」「人と技術でつなぐ未来へのソリューション提供」の三つの価値創造領域において、当社グループの強みであり社会への価値提供を支える「21のコア技術」の特長およびその活用と将来への展望について紹介していく予定です。

(本家浩一)

## <<編集委員>>

委員長	後藤 有一郎
副委員長	杵淵 雅男
委員	池田 英生
	佐成 弘毅
	杉立 宏志
	鈴木 励一
	高久 真也
	西口 克茂
	野澤 健太郎
	本家 浩一
	山下 俊郎
	横田 泰之
	<五十音順>
本号特集編集委員	横田 泰之

## R&D 神戸製鋼技報

### 第72巻・第1号（通巻第248号）

2023年6月21日発行

年2回発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 後藤有一郎

発行所 株式会社 神戸製鋼所  
技術開発本部 企画管理部  
〒651-2271  
神戸市西区高塚台1丁目5-5

印刷所 福田印刷工業株式会社  
〒658-0026  
神戸市東灘区魚崎西町4丁目  
6番3号

お問合わせ先 コベルコビジネスパートナーズ(株)  
R&D神戸製鋼技報事務局  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通2丁目-2-4  
(株)神戸製鋼所 神戸本社ビル  
FAX(078)261-7843  
rd-office@kobelco.com

2023年 6月 21日

各 位

(株)神戸製鋼所  
技術開発本部

「R & D神戸製鋼技報 Vol.72, No.1」お届けの件

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「R & D神戸製鋼技報 Vol.72, No.1」を発行しましたのでお届け致します。  
ご笑納のうえご高覧いただきましたら幸甚です。

なお、ご住所・宛先名称などの訂正・変更がございましたら、下の変更届に必要な事項を  
ご記入のうえ、FAXあるいはE-mailにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

コベルコビジネスパートナーズ(株)  
R&D神戸製鋼技報事務局 行  
FAX (078)261-7843  
rd-office@kobelco.com

本誌お送り先変更届

	変 更 前	変 更 後
貴社名		
ご所属		
ご住所	〒	〒
宛名シール 番号	No. _____ ←(封筒の宛名シール右下の番号をご記入下さい)	
備 考		
本紙記入者	お名前：	E-mail： TEL：

June 21, 2023

Kobe Steel Ltd.  
Technical Development Group

**RE: Delivery of R&D Kobe Steel Engineering Report, Vol.72, No.1**

Dear Sir or Madam,

We would like to express our sincere gratitude for your continued support and cooperation.

Attached please find Vol.72, No. 1 of the R&D Kobe Steel Engineering Report.

If there is any correction or change of address, contact name, etc., please fill in the required information in the change notification below and contact us by fax or by e-mail.

Best wishes for your continued success,

Attention:

R&D Office, Kobe Steel Engineering Report

Kobelco Business Partners Co., Ltd.

FAX: +81-78-261-7843

E-mail: rd-office@kobelco.com

**Change Notification**

	Before change	After change
Company name		
Department		
Address		
Address seal number	No. _____ ← (Please fill in the right lower number on the address sticker)	
Remarks		
Person making this entry	Name :	E-mail :